

		はい	どちらともいえない	いいえ	意見	改善
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22%	78%	0%	整理整頓などでスペースの工夫を行っている。特に訓練室を設けていないが、各々スタッフの時間配分でリハビリを行っている。利用人数によるので、布団等の配置を考えている。	現状と同様に利用員数によってマットやベッドの配置を工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	11%	89%	0%	訓練士、看護師は十分に多めに配置されているが、保育士がもう一人いてほしい。利用者の人数によって変動はあるが、徐々に充実しつつある。保育士が不足気味のため、活動などを他業種のスタッフが補っている。できるだけ利用人数に合わせている。	不足している保育士については必要に応じて系列の事業所からヘルプに来てもらうとともに、今後も継続して増員の為の募集を行い、スタッフの増員に努めます。
環境・体制整備	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	22%	67%	11%	段差についてはスロープを付けるなど行っている。脱衣所や風呂場はもう少し広くする必要がある。ベッドを置いたときに動ける子どもに危険だと感じた。バギー置き場も別に作り、何もない安全なフリースペースがあればと思う。車いすのスロープを設置。歩行時に滑らないよう、滑り止めマットを敷いている。一部されていない場所がある。段差などはないようにできているが、お風呂場やトイレなどスペースが狭い場合があるため、配置の工夫をする必要がある。風呂や脱衣スペースの確保のため、配置の工夫が必要。	浴室やトイレ等、スペースが狭い場合があるため、配置の工夫を行いスペースの確保を行います。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	67%	0%	職員会議や気がついたときに意見を言い、業務改善を進めている。PDCAサイクルについて職員間で理解を深めることが必要。業務内容により、できていない部分と出来ていない部分があるため、全てにおいて改善できるよう、業務内容の把握に努める。日々の業務で進んでいないため、話し合いが必要。	PDCAサイクルについての理解が不足しているため、スタッフ間で話し合いながら理解を深めていきます。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	44%	44%	11%	年に1~2回のアンケートを実施し、話し合いを行い、業務改善が出来るよう取り組んでいる。毎日の連絡帳に詳しく記載したり、個別のOZだよりを配布し、ご家族に状態を知らせ、ご家族の意見を受け入れて対応していると思います。ご家族の方々の意見や意向は聞いている様子。アンケートの実施。アンケートを取り、改善へ向け取り組んでいる。	OZで実施されているアンケートについて全スタッフが把握できるようにしていきます。また、個別のOZだよりについては配布が遅れてしまっているため、早急に改善に努めていきます。
業務改善	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13%	50%	38%	今後ホームページにて行う予定。事業所のHPを活用し、行っていく必要がある。ご家族向けの評価表についても知っておくことが必要。事業所のホームページで公開する方法をスタッフ全員が熟知し、行えるようにする。OZだよりが夏から配布できていない。現在は担当と別の方が作成中。	今後は定期的に評価を行い、その結果をもとに支援の質の評価及び改善点を検討していきます。また、その結果については今後インターネットを通して公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13%	25%	63%		第三者による外部評価は現在行っていません。今後必要に応じて取り入れていきたいと思えます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	56%	33%	11%	設けているが、機会が少ないので今後積極的に参加するよう声掛けを行う。スタッフ間で共有し、参加できる研修には参加している。様々な研修の参加を行い、研修に行ったスタッフがOZで伝達できている。研修会の案内、費用の補助。研修をした年もあった。各職員、行きたい研修には行っている。	各職員、参加できる研修会には参加し、事業所内において伝達研修を行っています。
適切な支援の提供	9 子どもの状態や保護者のニーズ等に基づいた個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	ご家族に聞き取りを行い、不足がある場合は追加を行い、ニーズに基づいた計画書の作成を行っている。担当表を作り、利用者に合わせて個別に作成できている。きっちりと個々に応じた支援計画がされていると思います。ご家族からの申し送りノートに必ず目を通し、必要時には直接聞き取りを行っている。ご家族にニーズを確認してから作成している。	
	10 子どもの状態等を知るためのアセスメントシートや健康調査票などの事業所内で決められたツールはあるか	67%	33%	0%	利用前に見学、体験時に聞き取りを行い、利用決定時に健康調査票(アセスメント)の記入、提出をお願いしている。カルテが見にくいので、見やすいように作成中。	決められたツールがあり、現在はそれを使用していますが、より見やすいものに改善しようと検討中です。
適切な支援の提供	11 発達支援や家族支援や地域支援などから、子どもの状態に基づいた必要な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	33%	67%	0%	家族支援や地域支援まで含めて把握できていないこともあるので、1人ひとりの状態を把握するよう努める。	家族支援や地域支援についての内容の理解や把握が出来ていないため、それらの理解を深めるとともに、今後子どもたち一人ひとりの状態を把握するよう努めます。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われているか	78%	22%	0%	個々に合った支援を行っている。スタッフ間での共有をもう少し深めていく工夫が必要。個別支援計画に沿って短い利用時間の時でも活動や訓練、看護がきちとなされていると思います。1人ひとりに関わる時間の確保が必要。出来るだけしているが、できていない時もある。	個々に合った支援を行っていますが、スタッフ間での共有を深めていく工夫を考えていきます。
適切な支援の提供	13 様々な職種が連携して活動内容を設定しているか	100%	0%	0%	話し合いを行い、同じ活動であっても個々に合った方法で製作や運動を変えて行っている。看護師、保育士、作業療法士が協力して考えている。その日の活動予定をホワイトボードに書き出し、他職種間で声を掛け合い、話し合いながらされていると思います。協力してできている。職員間の情報共有やコミュニケーションを心がけている。看護師、保育士、作業療法士で連携して考え、行うことが出来ている。各職種で日々連絡を取りながら進めている。	

適切な支援の提供	14	活動内容が固定化しないように工夫しているか	100%	0%	0%	保育士、訓練士が協力、話し合いを行い、個々の成長に合わせた活動ができるようにしている。毎日の業務日誌や申し送りを通して活動が固定化しないよう考えている。季節の行事を取り入れ工夫されていると思います。保育士や作業療法士が中心となって計画的に季節の行事を取り入れている。季節に沿ったイベントを企画し実施している。保育士が主に行っており、毎日違う内容で行えている。毎年同じものにならないよう工夫している。	
適切な支援の提供	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	78%	22%	0%	個別でじっくり関わったり、他の子どもとの関わりでの遊びの取り組みを行い、社会生活を学べるようにしているが、個別支援計画書には詳しく記入していない。保育士を中心に活動を展開している。個々の特性をしっかりと踏まえて活動も考えられていると思います。個別と集団、ともに楽しめるようにしている。	個別活動と集団活動ともに実施していますが、個別支援計画書には詳しく記載が出来ていないため、今後は記載の仕方を工夫していきます。
適切な支援の提供	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22%	78%	0%	朝送迎から帰ってすぐはバタバタしているので、少し落ち着いてから行っている。スタッフ全員が集まって毎日行うことは徹底できていない。どのように行っていくか工夫が必要。送迎等でできない時もありますが、確認、話し合いをされています。ホワイトボードを活用して情報の共有を図っている。ホワイトボードの活用時間がない場合は行えない時もあるので、申し送りノートをしっかり確認すること、入浴介助のスタッフにもしっかり伝達するようにする。出来ている時と出来ない時がある。話し合いの時間を作る必要がある。	現状通り、ホワイトボードと申し送りノートを活用し、情報共有を行っていきます。また、朝礼も徹底していけるよう、工夫していきます。
適切な支援の提供	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33%	56%	11%	送迎があり、パートスタッフは17時に帰るので、申し送りノートに必要なことは記録、または次の日に伝達、管理者やマネージャーにも必要に応じて報告している。全員で話すことはできていない。何人かでその日の支援について振り返ることはできている。支援終了すぐに送迎に入るため、できないことがあります。出来ている時と出来ない時がある。話し合いの時間を作る必要がある。	現在は申し送りノートに必要事項を記入したり、その日行われた支援についても数人のスタッフで話すようにしています。今後は全員で話せる時間を作る等の工夫をしていきます。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	44%	56%	0%	特に変わらない場合は、活動やそれに対する反応のみ記録。毎日の業務日誌や個別の記録で行えている。記録はしっかりとされており、つながっていると思います。詳しく記録を取れていない。	毎日の業務日誌や個別記録を記入することで記録は出来ています。しかし、記録スペースが少ないため、詳しい記録は行うことが出来ていません。今後書類の様式について検討していきます。
適切な支援の提供	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%	0%	計画の見直しが必要な時は行う。スタッフ全員が把握していく必要がある。定期的にはできていない	定期的にはできていないため、今後徹底していきます。また、その内容についてスタッフ全員が把握できるよう工夫していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	0%	必要があれば子どもの状況に最も精通したものが参加。管理者が主に参加し、参加後はスタッフで情報を共有している。状況を共有することでより良く過ごせるようにしている。	サービス担当者会議が開催される時はできる限り参加するようにしていますが、相談支援事業所のサービス担当者会議の開催頻度が多くありません。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	33%	67%	0%	必要があれば行う。連携を取る必要がある。	今後必要に応じて連携を取っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	33%	56%	11%	医療的ケアや重症心身障害のある子どもが多いので、積極的に連携を行っている。可能なケースは行っている。在宅支援を行っていない。	医療的ケア児や重症心身障がいのある子どもが多いので、積極的に連携を取っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	56%	44%	0%	主治医や関係機関とカンファレンスを行ったり、連携を取り情報交換を行っている。主治医や通院している病院、医師などの確認は必ず行うようにしている。担当医は聞いている。	主治医やかかりつけの医療機関等の確認を行い、必要に応じて関係機関を交えてカンファレンスや情報交換を行っています。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	38%	63%	0%	可能なケースは行っている。保育所と連携を取っている。	現在は保育園と連携を取っており、今後も必要に応じて連携を取っていきます。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	33%	67%	0%	送迎時などに情報共有をすることはあるが不十分どころもある。送迎(支援学校)の際での、情報交換しかできていないので、今後等に気になったことがあれば積極的に連絡を取ることが必要だと思われる。学校の送迎時に日ごろの姿を聞いたりしている。	送迎時などに情報共有を行っているが、不十分どころもあるため、今後特に気になったことがあれば、連絡を取って様子を聞くようにしていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11%	89%	0%		今後しっかりと連携を取っていきます。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の有無に関わらず、様々な方達と活動する機会があるか	11%	22%	67%	今のところ機会がないが、今後交流をお願いできる場所があれば行いたい。外出の機会や他者が来所して活動する機会はほとんどない。近くに保育園があるので、触れ合える機会を作ってあげたい。関わられる機会を作っていかなければならない。	平日は時間的に厳しい部分があるので、夏季休暇の期間などで感染症の少ない時期であれば、交流する機会を持てるようにしていきたいと思っています。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11%	44%	44%	機会があれば今後積極的に参加していきたい。	機会があれば今後積極的に参加していきたいと思っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	56%	44%	0%	毎回の送迎時や連絡帳で情報交換を行っている。送迎時に必ずその日の状況をしっかりと伝えられるようにしている。送迎の時のみコミュニケーションが取れる状態なので、希望するご家族のみでもカンファレンスという形をとって来所してもらう。利用日の様子を必ず話すかノートに書くようにしている。	送迎時にその日の状況をしつかり伝えることや連絡帳を記入することで情報交換を行っています。また、個別支援計画においても課題やそれについての支援内容を記載し、理解していただいています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11%	44%	44%	年度末にご家族面談を行い、家庭での様子やデイへの要望や対応について相談を受けたり、情報交換を行っている。	現在ではできていないので、今後家族支援プログラムへの理解を深め、必要に応じて支援を行っていききたいと思います。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	56%	44%	0%	利用契約時にご家族に分かりやすく説明しているつもりですが、ご家族の方には十分な理解を得られていない様子。スタッフ全員が説明できるように熟知しておく必要がある。管理者が中心となり行っている。	契約時に分かりやすく説明しているつもりですが、内容が複雑ため、説明の仕方を見直し、スタッフ全員が分かりやすく丁寧に説明できるよう努めていきます。
	32	児童発達支援ガイドラインや子どもの状況に基づいて作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	67%	33%	0%	ニーズの聞き取りをおこない、個別支援計画を作成、内容を確認していただき、見直しや同意を得られるよう行っている。ニーズの確認、見直しを行い、説明もするようにしている。作成後、ご家族に確認をいただいている。	ニーズの聞き取りを行い、個別支援計画を作成した後は、ご家族に内容を確認していただき、同意を得られるようにしています。
保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	44%	56%	0%	相談があれば適切に対応し、助言を行っている。相談があった場合にはスタッフ間で共有し、支援するよう努めている。ご家族としっかり話を取る時間を取るため、電話もしくは来所にてカンファレンスを行う。面談をしない年がある。	相談があった際にはスタッフ間で共有し、助言や支援を行うよう努めていますが、さらに詳しく話を聞きたいという要望があれば電話もしくは来所にてカンファレンスを行っています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	78%	11%	個人情報についてはデリケートな部分なので交流会は行っていない。行事等でしていきたいが出来ていない。	今後、ご家族からの要望を踏まえ検討していきたいと思えます。
保護者への説明責任等	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	56%	44%	0%	必要に応じて子どもやご家族の方の申し入れに対し、迅速かつ適切、丁寧に対応している。相談や要望などがあれば迅速に対応している。	子どもやご家族の方からの相談や要望などがあれば、その内容に応じて迅速にかつ適切に対応しています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	63%	38%	0%	現在は会報が遅くなっているが、毎月の会報発行、デイでの様子は会報や連絡帳、送迎時に様子をお知らせしている。毎月作成しているものの、遅れてしまふ場合などがあるため、工夫していく。毎月のお便りを個別に出している。OZだよりが止まっている。	現在は個別のOZだよりの配布が遅れているが、必要に応じて活動の概要や行事の予定などはお手紙を出すなどして情報を発信しています。また、今後は定期的にOZだよりを配布できるよう、検討していきます。
保護者への説明責任等	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	記載されたものは外に持ち出さない。知り得た情報は他事業所とのカンファレンス以外話さない等徹底している。注意していると思えます。	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88%	13%	0%	情報伝達のための配慮をできる限り行っている。ご家族にはわかりやすく、内容もしっかり伝わるよう話しています。ご家族の意見や考え方をまずは尊重したうえでの関わりを行っている。	ご家族の意見や考え方を尊重したうえでの関わりを行うとともに、できるだけ分かりやすく内容もしっかり伝わるよう、配慮しています。
保護者への説明責任等	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	22%	33%	44%	今のところ機会がないので行っていない。写真や作品、活動などの展示会を地域の市民センターで行った。機会があればそういう機会を持ちたい。	今後、ご家族の意見などを取り入れながら、行っていききたいと思います。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	44%	44%	11%	マニュアルを作成し、毎月1回想定した避難訓練を行っている。ご家族には避難場所や緊急連絡先を記載したものを配布している。不備もあるので今後整えていきたい。職員と利用者での訓練は行っている。マニュアルも作成して感染や緊急時対応の確認もご家族に行っている。できていない。見直しが必要。	各種マニュアルについてしっかりと共有が出来ていなかったため、今後は全職員に周知していきます。また、訓練については災害に関する訓練はしていましたが、感染症等に関する訓練も取り入れていきたいと思えます。
非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	22%	0%	毎月1回地震や火災、水害、不審者、緊急時等の避難訓練を行っている。避難訓練を行っている。	毎月1回、火災や水害、不審者、緊急時等の避難訓練を行っています。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	56%	33%	11%	契約時に予防接種やアレルギー、服薬、子どもの状況の聞き取りや確認を行っている。カルテには記載があるが、不十分なところもあるため、見直ししていく。カルテ等で情報収集しています。利用開始時の確認は行っている。変化した点があればご家族と情報交換している。確認内容が不十分なケースが時々ある。把握できていない。	契約時に聞き取りを行っているが、確認内容に漏れがある場合もあるため、書類の見直しについて検討していきます。
非常時等の対応	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88%	13%	0%	食物アレルギーのある子どもの場合は家庭からお弁当を持参してもらう。医師の指示による内容のある方は持参してもらっている。	食物アレルギーのある子どもや医師の指示による内容がある方は家庭から持参していただいています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハットが出た場合、報告書を作成し、共有を行い、次に同じようなことがないように気を付けている。職員間で情報共有している。同じことが起きないようにしている。	

非常時等の対応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88%	13%	0%	毎月1回、職員会議の時に話し合いを行う。また虐待防止マニュアルを作成している。職員会議で虐待について話す機会を設けている。研修時間が取れていない。	虐待防止マニュアルを作成し、毎月1回職員会議の時に虐待の事例や虐待防止について児話す機会を設けている。今後は外部の研修にも積極的に参加をしていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	63%	38%	0%	身体拘束について説明は行っている。個別支援計画書に記載されていないので、必要時に作成、見直しを行う。スタッフ全員で再度周知し、説明できるよう把握しておく必要がある。ご家族への説明は行っているが、計画に記載しているか不明。本人のバギーではない場合は許可を取っている。	必要に応じて説明を行い、同意書をいただいているが、個別支援計画書には記載されていないため、見直しを行う。また、今後スタッフ全員に周知し、説明できるようにしていきます。